

経済学 2・3

木 1 古内博行先生

キーワード: EU 共通農業政策(Common Agricultural Policy, CAP) 所得補償的価格政策
サイロシステム(価格階層制度) セット・アサイド措置(休耕政策)
直接所得支払い制度 農村開発政策 リーダー(Leader)
モジュレーション(減額調整措置) ボンド・スキーム

←実際に利用した資料にはチェックをしましょう。

Web 授業のテーマに関連したデータベースやサイトです。

European Commission - Agriculture and Rural Development [http://ec.europa.eu/agriculture/index_en.htm]
→ 欧州委員会のサイトのうち、農業政策に関するページです。EU 加盟国の言語で表示できます。

[ジャパナレッジ](#) 【学内限定】

→ 「現代用語の基礎知識」「情報・知識 imidas」などがオンラインで一括検索できます。上記のキーワードのうち「EU 共通農業政策」を全文検索してみましょう。専門的なキーワードは下記の図書リストの索引などを利用しましょう。

図書 本には、テーマに関連する内容がまとめられています。授業のテーマをつかむにはまずはここから始めましょう。

農業経済に関する図書は、[分類番号](#)が「611」の書棚にあります。直接その場所に行って、どのような本があるか手にとってみましょう。

★のついている図書は、授業期間中(4月~8月)は本館1階 授業資料ナビコーナーにあります。
書名は千葉大図書館のOPACにリンクされていて、貸出状況を確認し、貸出中の本に予約を入れることができます。

『EU穀物価格政策の経済分析』古内博行著 農林統計協会 2006

→ 1970年代後半に顕在化する過剰問題に直面して本格化する保護の横綱格であるEU穀物価格政策の歴史の変遷を辿ることにより、現代資本主義下における農業問題を検討し、農政改革、農業保護について考える、本授業の教科書。

★【本館閲覧室3階 611.35/EUK】

『[ボンド・スキーム構想とCAP改革の健康診断\(health check\)](#)』(千葉大学経済研究叢書)古内博行著 千葉大学法経学部経済学科 2010

→ 直接所得支払いを一定期間の調整の後廃止するボンド・スキーム構想の歴史的経緯を辿りながら、2003年のフィッシャー農政改革の継続的な改革として打ち出されてきた健康診断を検討する作業から両者の関係性を分析する。

★【本館閲覧室3階本館, 2階学内出版物コーナー 611.5/BON】

『EU共通農業政策と結末: ウルグアイ・ラウンド以降の共通農業政策』豊嘉哲著 山口大学経済学会 2006

→ 1992年のマクシャリー改革から現在までのCAP改革の影響について、農村開発政策(農村に雇用を生み出す政策)、2004年にEU加盟した中東欧諸国、ACP(アフリカ・カリブ海・太平洋諸国)をテーマに、結末という論点で分析。

★【本館閲覧室3階 611.1/EUK】

『EU共通農業政策の歴史と展望: ヨーロッパ統合の礎石』(農政研究センター国際部会リポート)ローズマリー・フェネル著; 荏開津典生監訳食料・農業政策研究センター 農山漁村文化協会(発売)1999

→ EU農業および農業政策の歴史的な変遷をCAP改訂の歩みを柱にして解き明かし、その課題を論じている。フェネルは共通農業政策に関する第一人者の女性研究者。

★【本館閲覧室3階 611.1/EU】

『[ヨーロッパの農業政策](#)』ブライアン・ガードナー著; 村田武[ほか]訳 筑波書房 1998

→ ヨーロッパ農業について、CAPのもとでの発展、世界経済との関係、環境やハイテクを踏まえた将来等を解説・分析。著者は、政府やアグリビジネス企業を顧客に持つ調査機関の所長。EUの農政改革に関する大学講義テキスト用に翻訳。

【本館閲覧室3階 611.1/YOR】

